複素関数論 第６講 課題

201811395 山本雄太

Q6-2:

これの*t=0→1*区間について、

より

Q6-3:

*t=1→i+i*区間について、

より

Q6-4(Q6-1):

Q6-5:

【PathA】

【PathB】

以上により、PathA,Bともに同じ値が求められた。